

(別紙様式1)

あいさつ運動の事例

倉敷市立柏島小学校
(児童数320名 教職員数 38名)

受け継がれる伝統のあいさつ運動

アピールポイント

- ・運営委員会を中心に、子どもたちが自分から進んで活動に取り組んでいる。
- ・6年生は毎日全員が参加し、下級生に「あいさつ運動が柏島小の伝統であること」を態度で示している。
- ・給食時間の放送で、その日良いあいさつをしていた人や反省点を知らせている。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

10年来の取組であるが、最近やや形式的になり、ボランティアに参加する児童も減ってきていた。

■活動内容

校門前や靴箱前など、3カ所に集まり、登校してくる友達にあいさつをする。

全員が登校し終わったら、運営委員会の当番が終わりのあいさつをする。

■取組の参加メンバー

月曜と金曜はボランティア（高学年を中心に） 火曜、水曜、木曜は当番の学級

■成果・効果

これまで、6年生が中心となり、全員があいさつ運動に取り組む姿を見せてくれたおかげで、今年の6年生も4月からすぐにあいさつ運動に取り組むことができている。6年生は、最高学年としてやるべき当然のこととしてとらえている。5年生も、伝統を受け継ぐため少しずつ人数を増やしている。下級生でもボランティアで運動に参加し、高学年を見習って大きな声であいさつをする姿も頻繁に見られる。